

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

家族をつなぐ家

グループの名称

枠組壁工法優良の家の会

直近採択グループ番号

04-0132-0059

(グループ代表者)

代表者名

本田 幸二

代表者印

代表者所属先

株式会社インデュアホーム

代表者所在地

岩手県花巻市矢沢第10地割1番地1

代表者電話番号

0198-32-1882

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社インデュアホーム

事務局担当者名

北館 弘

印

事務局郵便番号

025-0011

事務局所在地

岩手県花巻市矢沢第10地割1番地1

事務局電話番号

0198-32-1882

事務局FAX

0198-31-2206

事務局担当者E-mail

kitadate@endure.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		18	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		20	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		20	戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		5	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		5	戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)		0	戸				
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		0	戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)		0	戸				
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		0	戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)		0	戸					
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)		0	戸					
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		0	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		0	戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	基本的に請負契約日の早い準に配分するが、未経験の施工業者を優先させる。また全参加施工業者に一戸以上を配分できるようにする。 □									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族をつなぐ家	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 枠組壁工法優良の家の会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0132-0059	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	気密性・耐震性・耐火性に優れた工法である枠組壁工法は東西に長い日本全土において各地の気候風土に対応できる性能があるといえる質、普及率はまだ低い。全国各地で地震による被害が続く耐震性能にも関心が高まる中、枠組壁工法の特徴である高气密・高断熱・耐震性能の優位をアピールしていく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域の気候風土に柔軟に対応していくため外壁スタッドを2×4または2×6材を使用した枠組壁工法により工期の短縮化と一定の品質確保を図る。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	グループ共有のカタログを使用しその中から地域のフワドを踏まえ、町の景観を意識したデザイン住宅を提案する。	◎
④①～③の背景	全体的な住宅着工率の中で枠組壁工法の割合は低いといわざるを得ない。度重なる大震災において枠組壁工法の耐震性能注目されてはいるが、全国的には周知されていないのも事実である。以上の事から枠組壁工法の普及に貢献し契約率の向上につなぐべき方向性のもとにグループを組織した。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	スタッド材については国産材の活用を推奨する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	縦枠材は2×4材、2×6材を基本とする	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
②-1 建材・資材調達の商品共通化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
b	現場見学会及び研修会を計画しその内容議題を提案、必要資料を作成する。全国のグループ構成員のために研修会場を岩手、栃木、愛知、滋賀、岡山、福岡とし連絡と出欠を確認する。	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族をつなぐ家	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 枠組壁工法優良の家の会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0132-0059	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工会社にて住宅履歴情報を保存管理する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が定期研修会において履歴情報を確認する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の定期点検報告書を使用し点検する。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の検査チェックシートを使用する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の自主検査チェックシート検査写真により確認。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に研修会のなかでグループミーティングを行う。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に行われる研修会のなかで実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各々施工会社の責任において住宅完成補償へ加入する。事務局は進言し促す。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全国6箇所年10回行われる研修会のなかで実施する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全国6箇所で行われる研修会等で経験施工会社は、未経験施工会社に指導、アドバイスをする。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の施工検査チェックシート。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の施工検査チェックシートに添付された施工写真。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の基準を全施工会社の長期優良住宅の施工と位置づけ。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 営業、工務、設計各担当者の研修会を開催する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基本的に事務局が取りまとめ資料を作成する。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全国6箇所年10回行われる定期研修会にて促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族をつなぐ家	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 枠組壁工法優良の家の会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0132-0059	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	◎、○記入欄
	外壁縦枠材は地域材を使用とするが、国産杉材の使用を推奨する。また主要構造部にあつては過半の割合で地域材をしようする。 ■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上 土台: □ 使用していない ■ 使用している 主要構造材 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: □ 使用していない ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: □ 使用していない ■ 使用している 板材 壁板、床板等: □ 使用していない ■ 使用している 原木供給⇒製材・集成材⇒建材流通⇒プレカット工場⇒施工会社	○
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 □ ない ■ ある → 内容: 事務局一括して情報を把握しグループ施工会社に周知する。 ①-2 地域材価格の共有の仕組 □ ない ■ ある → 内容: 事務局が一括してメーカーと交渉しグループ施工会社に周知する。 ② グループ全体における地域材の需給予測 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 輸入材のみならず国産材を使用することで需給の安定化を図る。	○
c	①-1 畳の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ①-2 和瓦の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ①-3 襖の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ①-4 障子の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域の素材を積極的に取り入れた施工例をグループ施工会社に紹介する。 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域の街並み景観に配慮したデザインを取り入れる。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ② 地域の住まい方の継承につながる取組 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループの各地域の施工会社の建物見学を全国6箇所で年2回実施する。 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ④ 和の住まいの要素を取入れた取組 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	◎、○記入欄
	震災復興に資するため特に耐震性の高い枠組壁工法の推進を図ると共に、地盤調査を義務化し制震装置等を仕様に入れる等被災地対応住宅として提案していく。	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○
	震災復興に資するため特に耐震性の高い枠組壁工法の推進を図ると共に、地盤調査を義務化し制震装置等を仕様に入れる等被災地対応住宅として提案していく。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 家族をつなぐ家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 枠組壁工法優良の家の会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0132-0059	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。